



Electronics for the Future

決算説明会

2022年度 上半期決算

2022年11月2日

ローム株式会社

代表取締役社長 松本 功

- **2022年度上半期 業績報告**

業績
売上の変動要因
営業利益の増減分析

- **2022年度通期 修正計画**

業績
売上の変動要因
営業利益の増減分析

- **設備投資の状況**

- **在庫の状況**

- **株主還元**

- **LSI事業の戦略**

- **パワーデバイス事業の戦略**

2022年度 上半期 実績 (期初計画比、前年同期比)

(単位：億円)

	FY2022 上半期 実績	FY2022 上半期 期初計画	期初計画比	FY2021 上半期 実績	前年同期比
売上高	2,599	2,520	+3.1%	2,226	+16.7%
営業利益	504	390	+29.2%	345	+46.0%
(対売上比率)	(19.4%)	(15.5%)	-	(15.5%)	-
経常利益	709	360	+97.0%	378	+87.3%
(対売上比率)	(27.3%)	(14.3%)	-	(17.0%)	-
純利益	521	320	+62.9%	308	+69.2%
(対売上比率)	(20.1%)	(12.7%)	-	(13.8%)	-
EBITDA	752	657	+14.5%	534	+40.8%
(対売上比率)	(29.0%)	(26.1%)	-	(24.0%)	-

期中平均レート(¥/US\$)

(133.46円)

(116.06円)

(110.18円)

期末レート(¥/US\$)

(144.81円)

(115.00円)

(111.92円)

(単位：億円)

上半期売上高

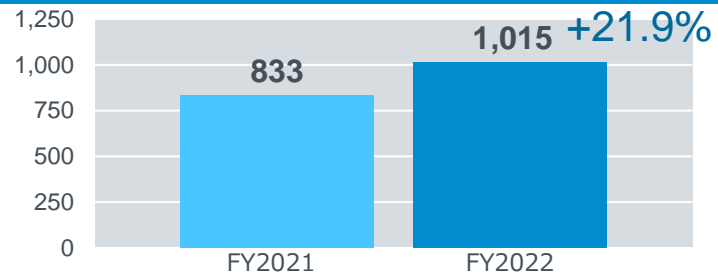
2,226億円

FY2021 上半期
実績

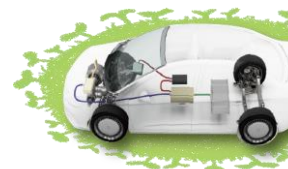
+16.7%
2,599億円

FY2022 上半期
実績

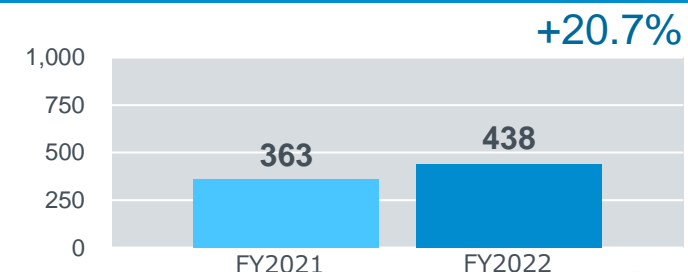
自動車



- インフォテインメント分野 +46
- ボディ分野 +20
- パワートレイン分野 +8
- 安全走行ADAS分野 +11
- xEV分野 +76
- その他 +21



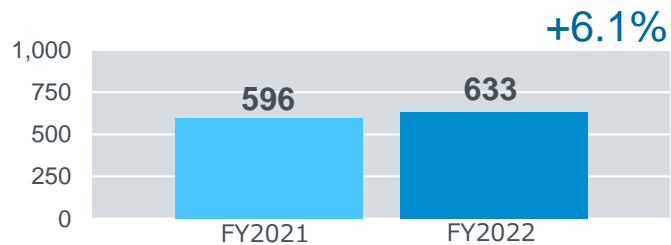
産機



- FA分野 +13
- エネルギー分野 +26
- ホームビルディング分野 +9
- その他 +28



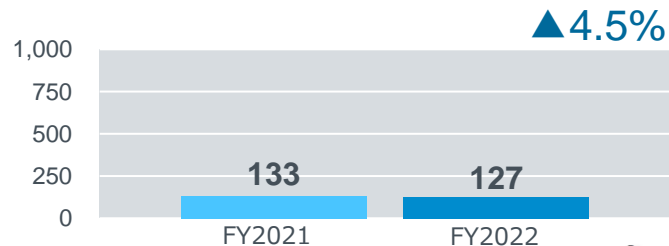
民生



- AV関連 +0
- 家電分野 +21
- その他 +15



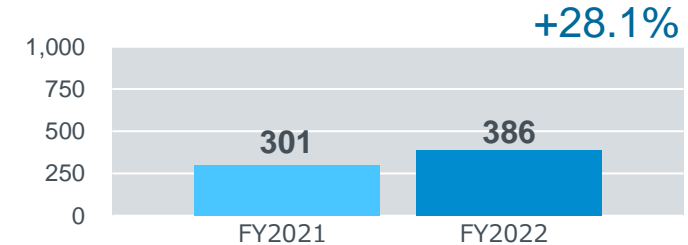
通信



- スマホ&モバイル分野 ▲7
- 基地局&インフラ分野 +1
- 有線通信分野 +0



コンピュータ & ストレージ



- PC&サーバー分野 +47
- 決裁端末向け +11
- 事務機分野 +27



※業種分類：現在の状態で集計

2022年度 上半期 国籍別 売上の変動要因 (前年同期比)

上半期売上高

2,226億円

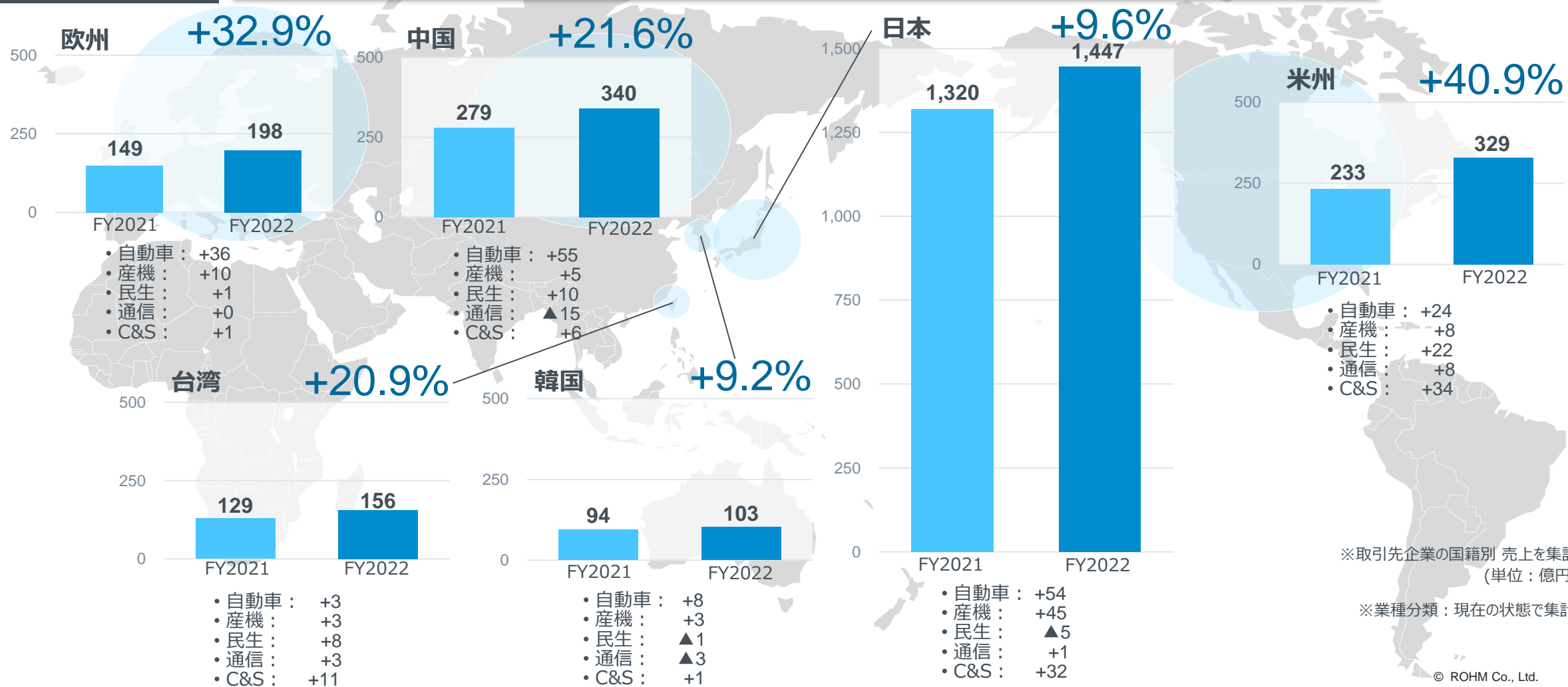
FY2021上半期実績

2,599億円

FY2022上半期実績

+16.7%

上半期前年同期比



※取引先企業の国籍別 売上を集計 (単位: 億円)

※業種分類: 現在の状態で集計

2022年度 通期 業績予想（期初計画比、前期比）

※今回 修正発表

（単位：億円）

	FY2022 修正計画	FY2022 期初計画	期初計画比	FY2021 実績	前期比
売上高	5,200	5,100	+2.0%	4,521	+15.0%
営業利益	900	760	+18.4%	714	+25.9%
（対売上比率）	(17.3%)	(14.9%)	-	(15.8%)	-
経常利益	1,050	740	+41.9%	825	+27.2%
（対売上比率）	(20.2%)	(14.5%)	-	(18.3%)	-
純利益	800	600	+33.3%	668	+19.7%
（対売上比率）	(15.4%)	(11.8%)	-	(14.7%)	-
EBITDA	1,485	1,395	+6.5%	1,135	+30.8%
（対売上比率）	(28.6%)	(27.4%)	-	(25.1%)	-

期中平均レート(¥/US\$)

(134.17円)

(115.57円)

(112.86円)

期末レート(¥/US\$)

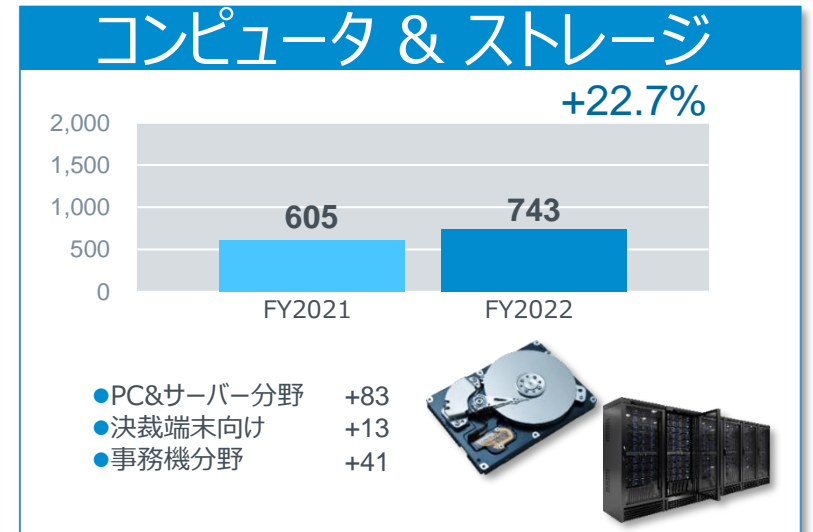
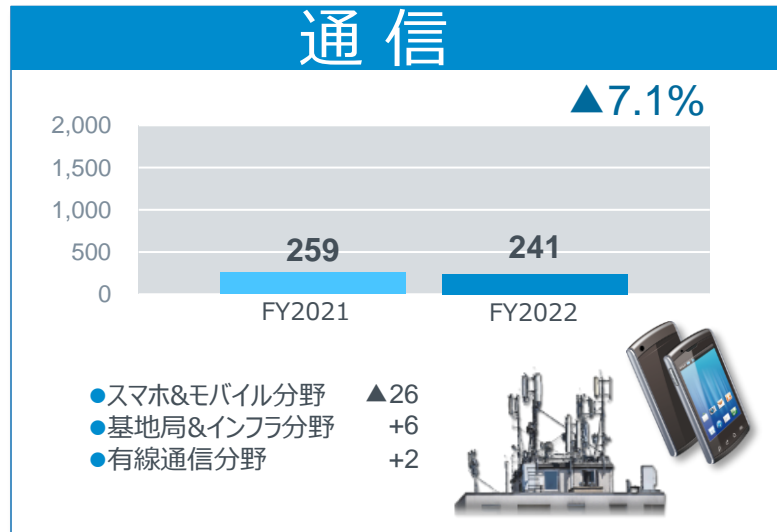
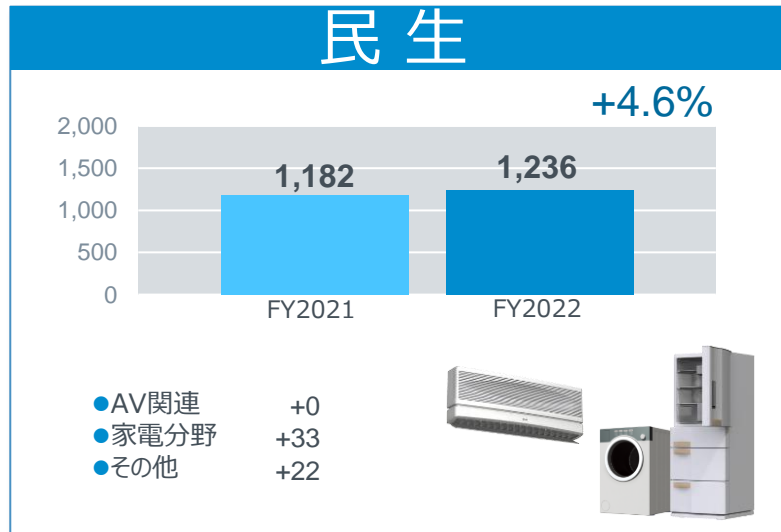
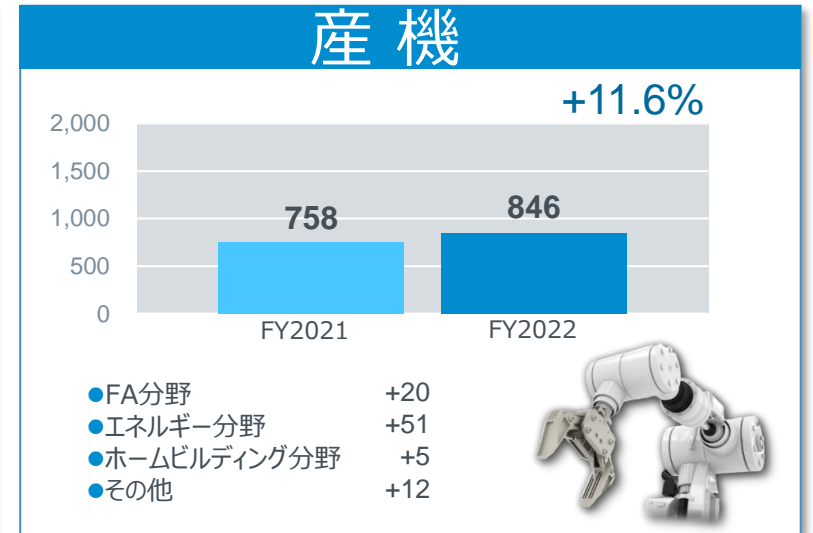
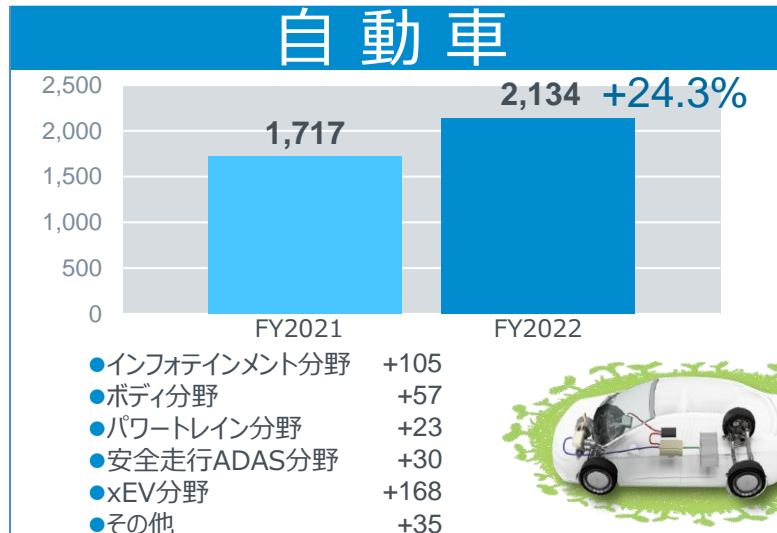
(135.00円)

(115.00円)

(122.39円)

2022年度 通期 市場別 売上の変動要因 (前年比)

(単位：億円)



※業種分類：現在の状態で集計

2022年度 通期 国籍別 売上の変動要因 (前年比)

通期売上高

4,521億円

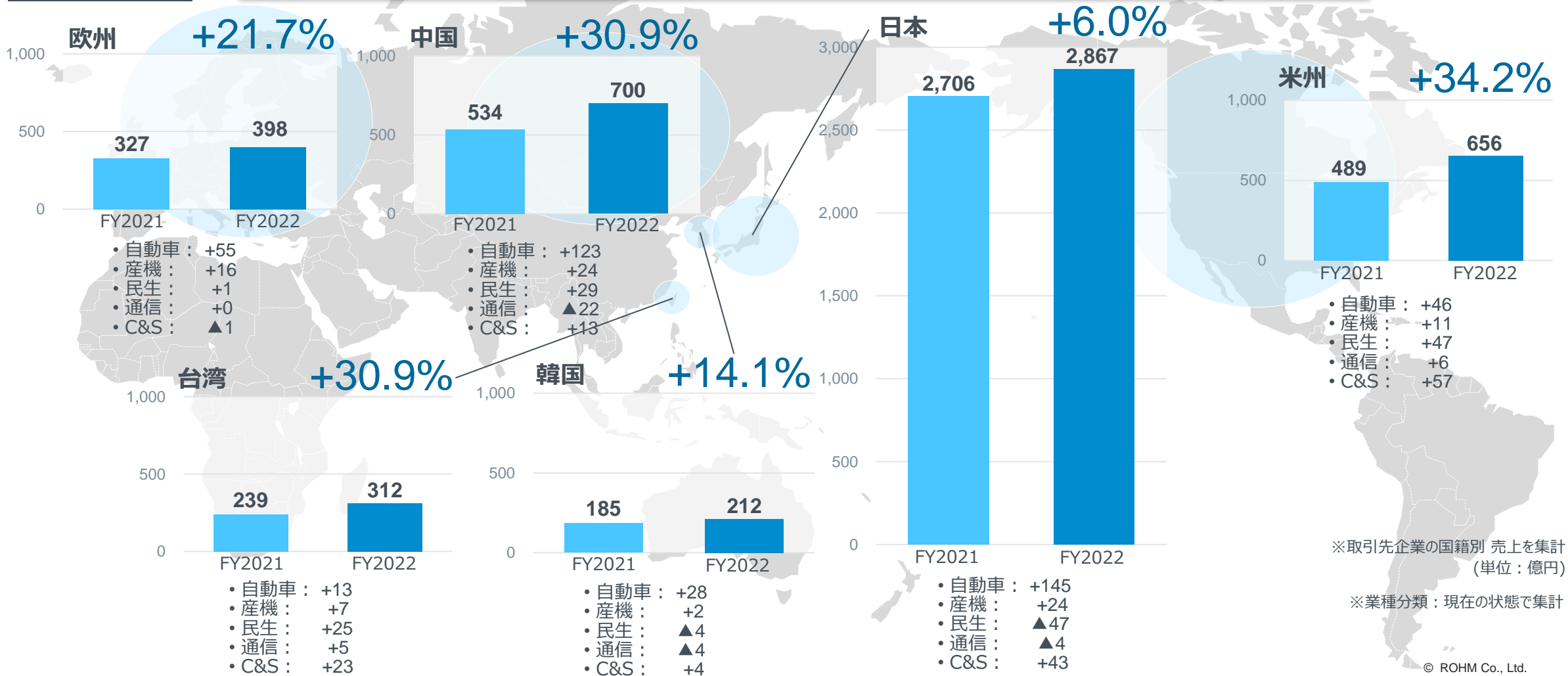
FY2021通期実績

5,200億円

FY2022通期修正計画

+15.0%

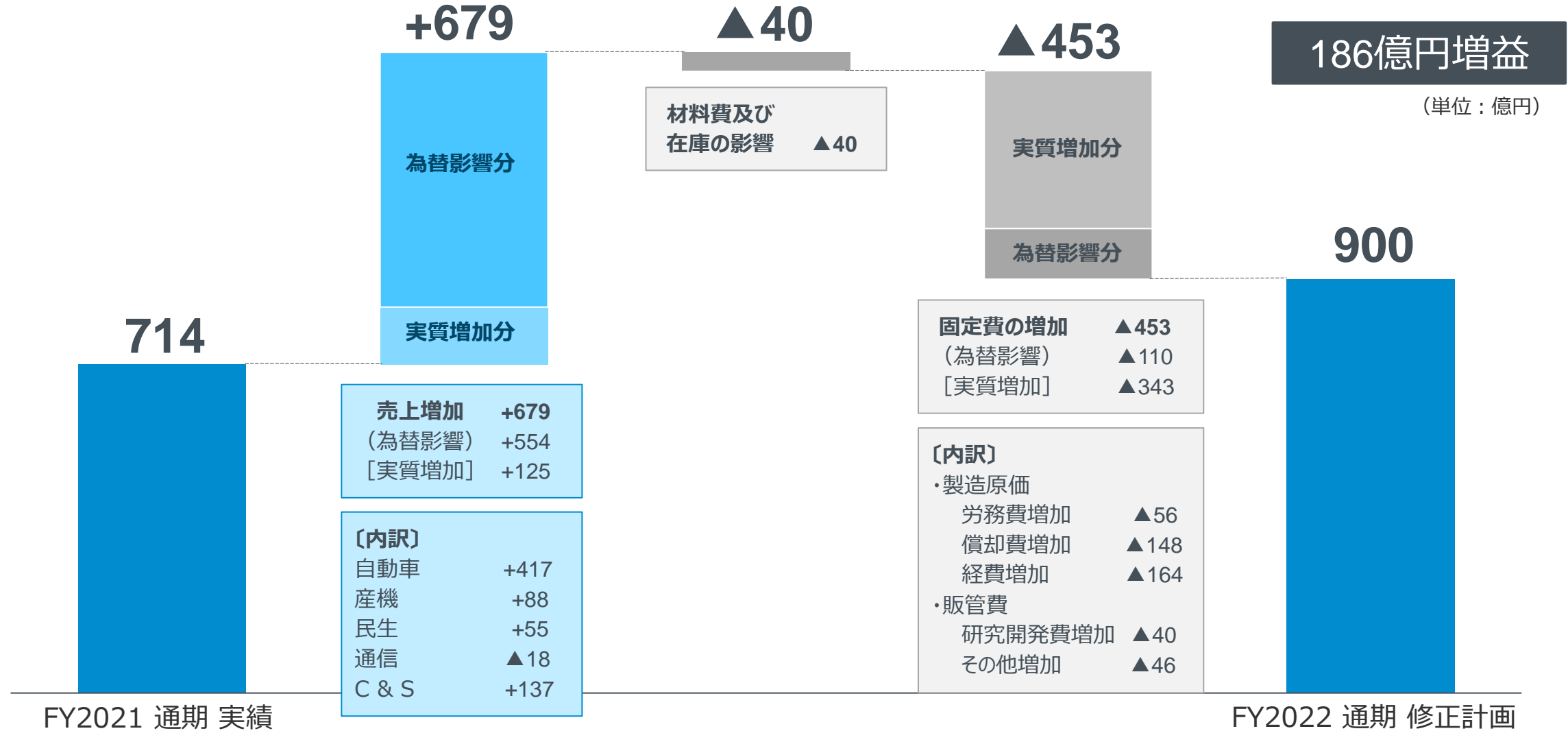
通期前年比



※取引先企業の国籍別 売上を集計 (単位: 億円)

※業種分類: 現在の状態で集計

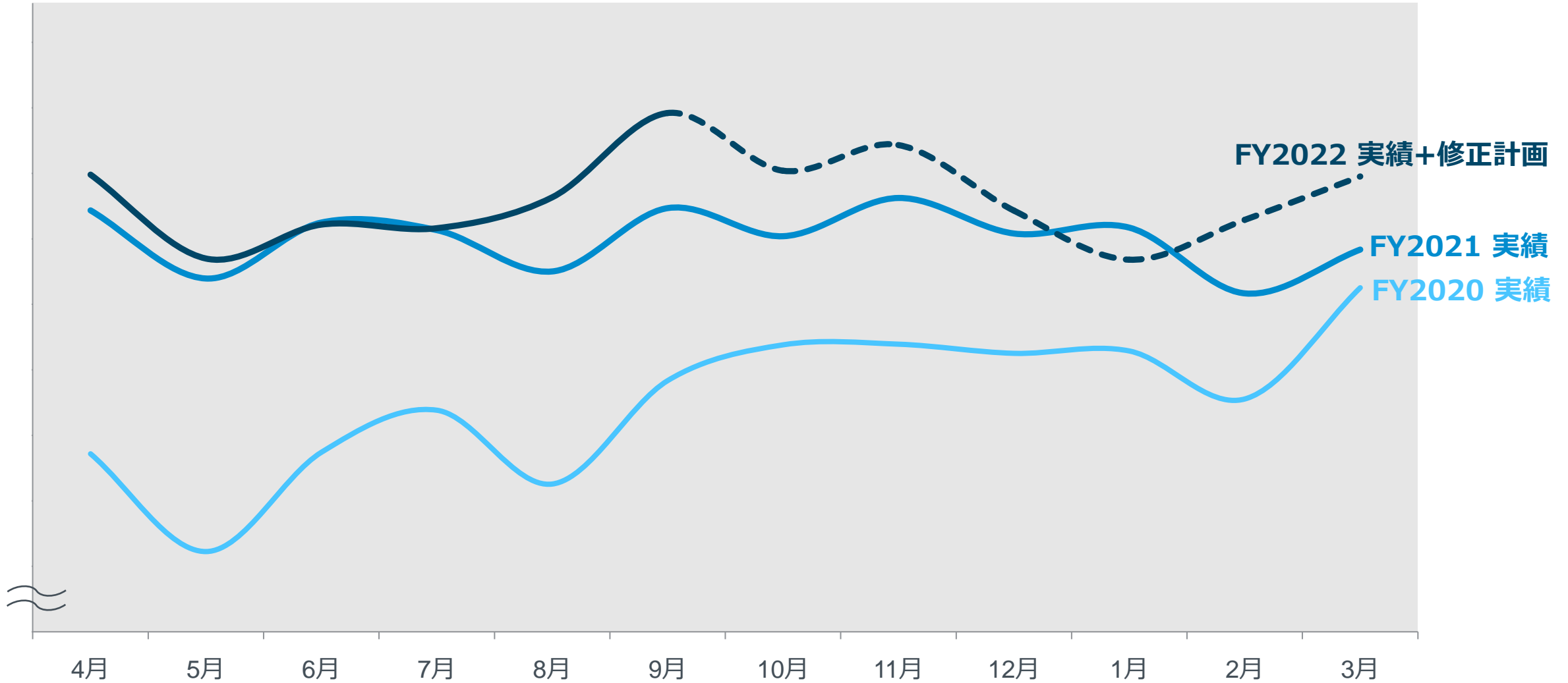
2022年度 通期 営業利益 増減分析 (前年比)



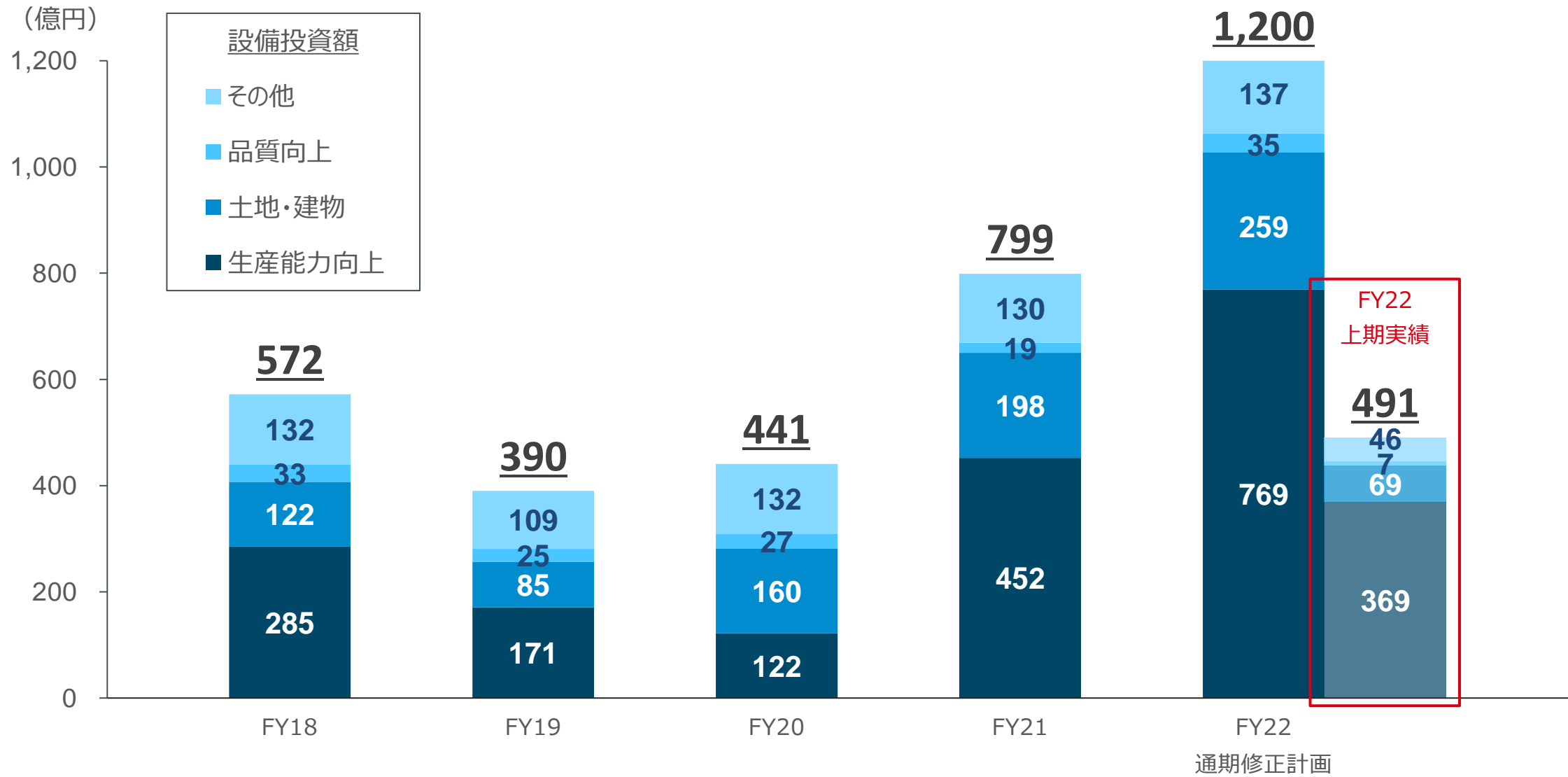
期中平均レート (¥/US\$) **(112.86円)**

(134.17円)

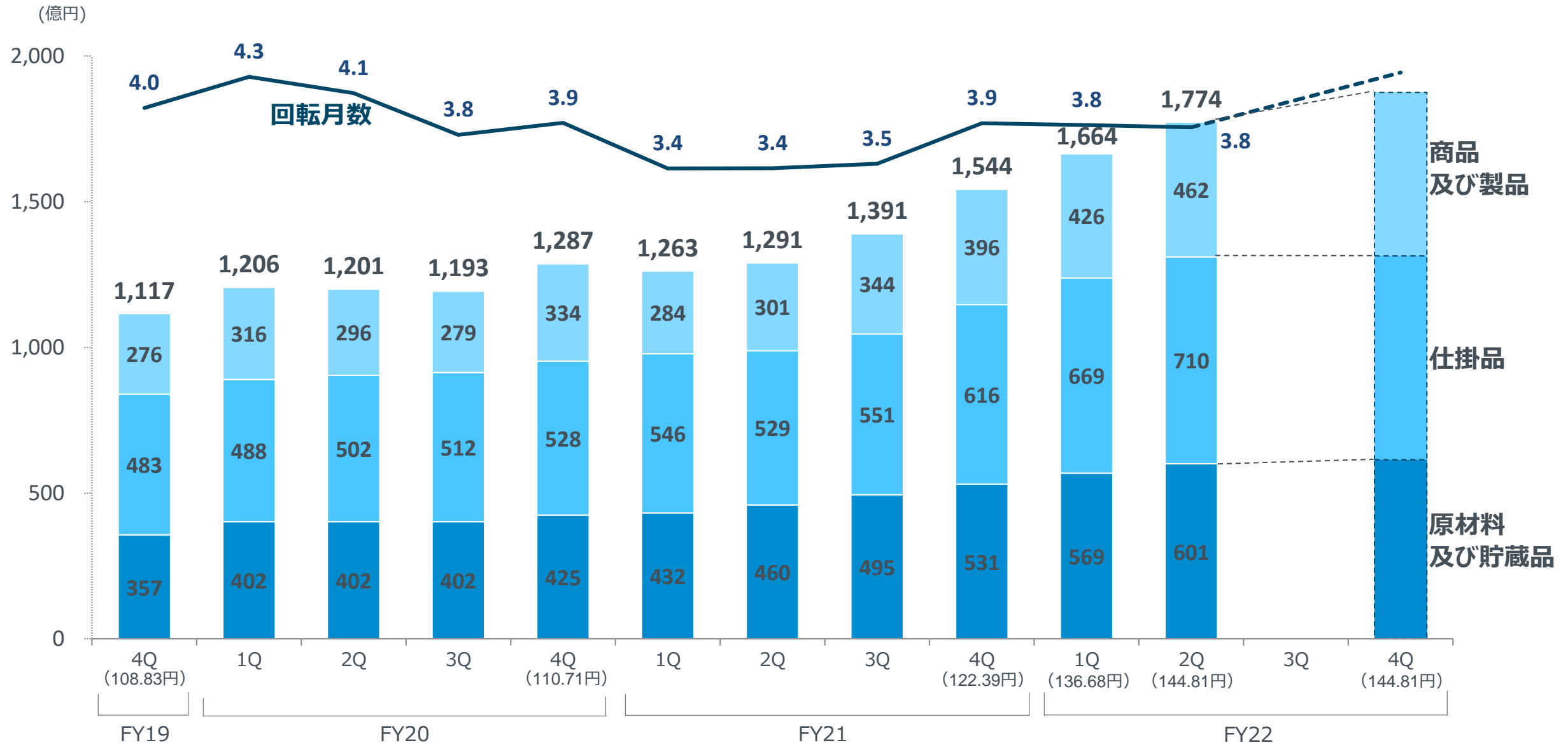
※為替は1USD = 105円で換算



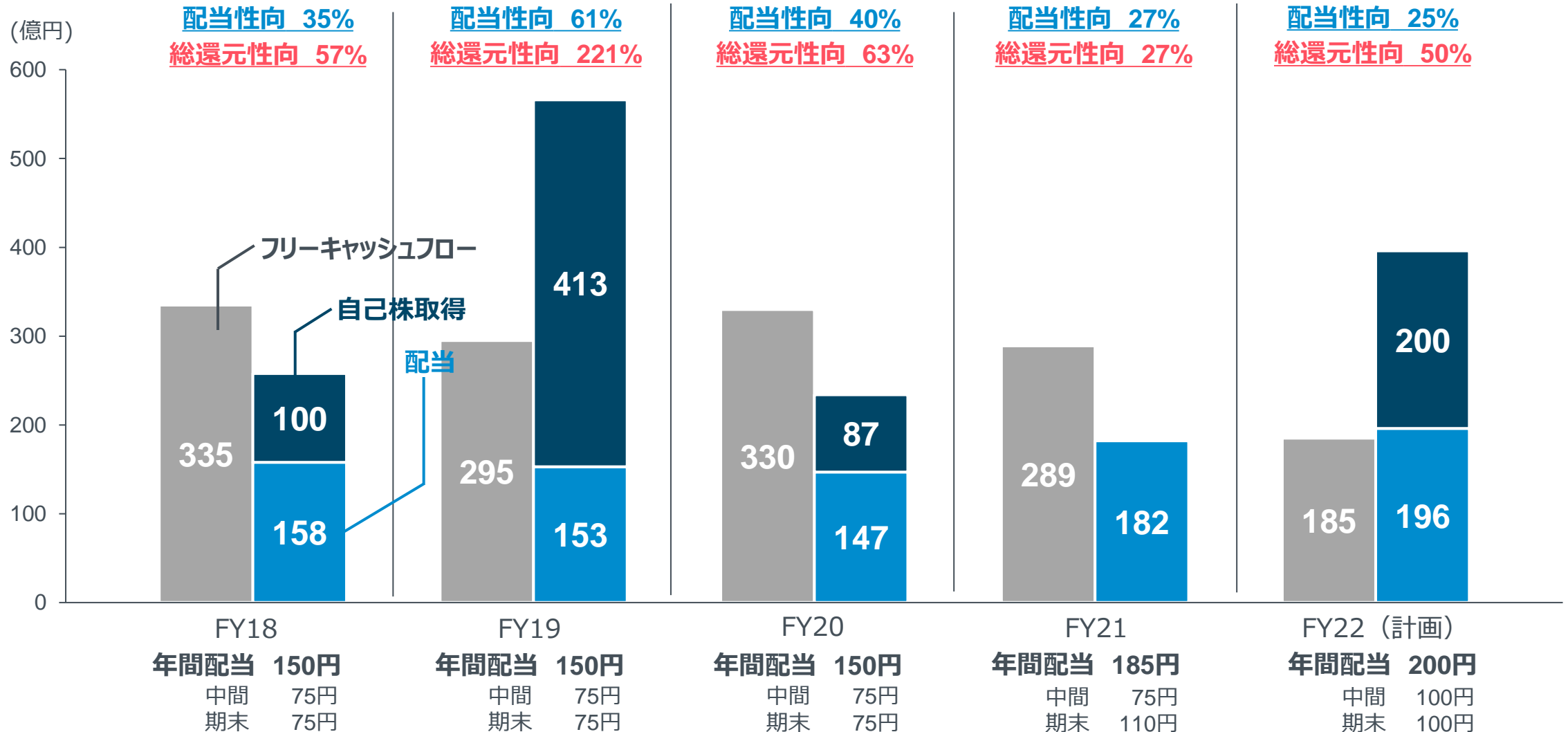
設備投資の状況



在庫の状況 (金額)



株主還元の推移

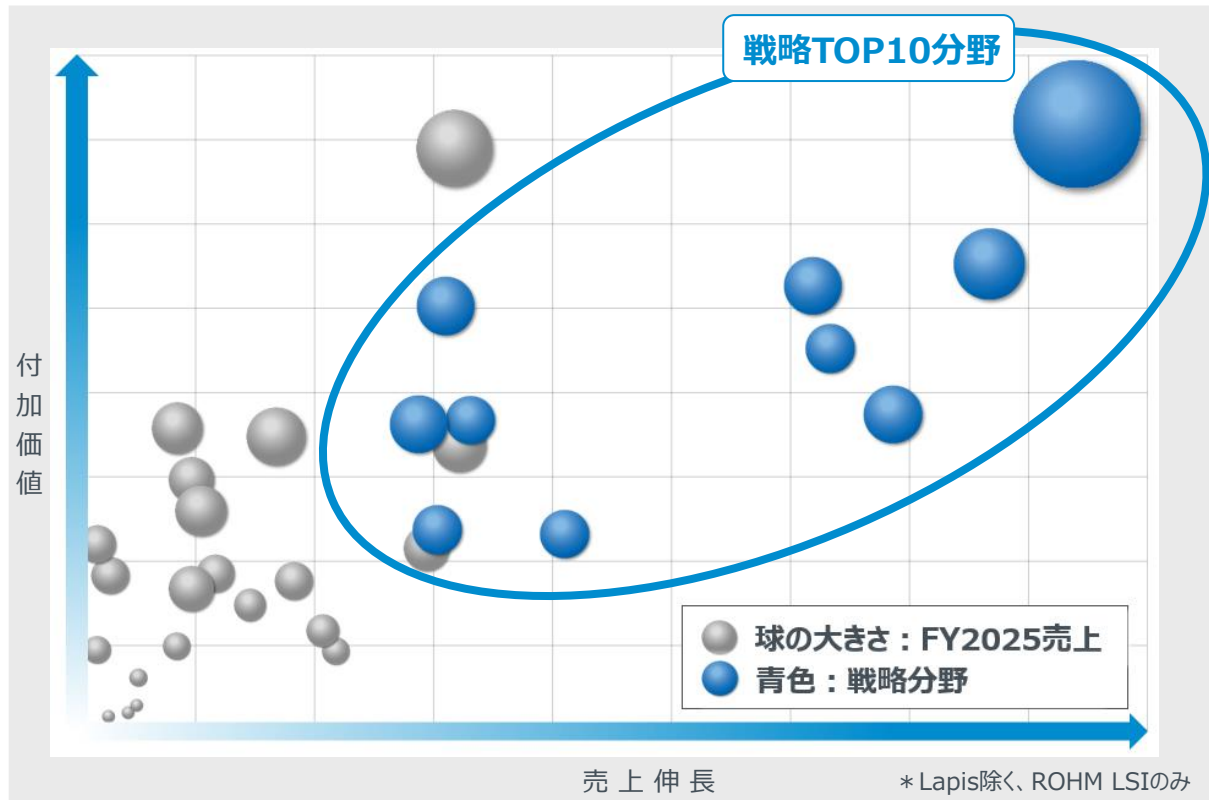


*フリーキャッシュフロー：純利益 + 減価償却費 - 設備投資

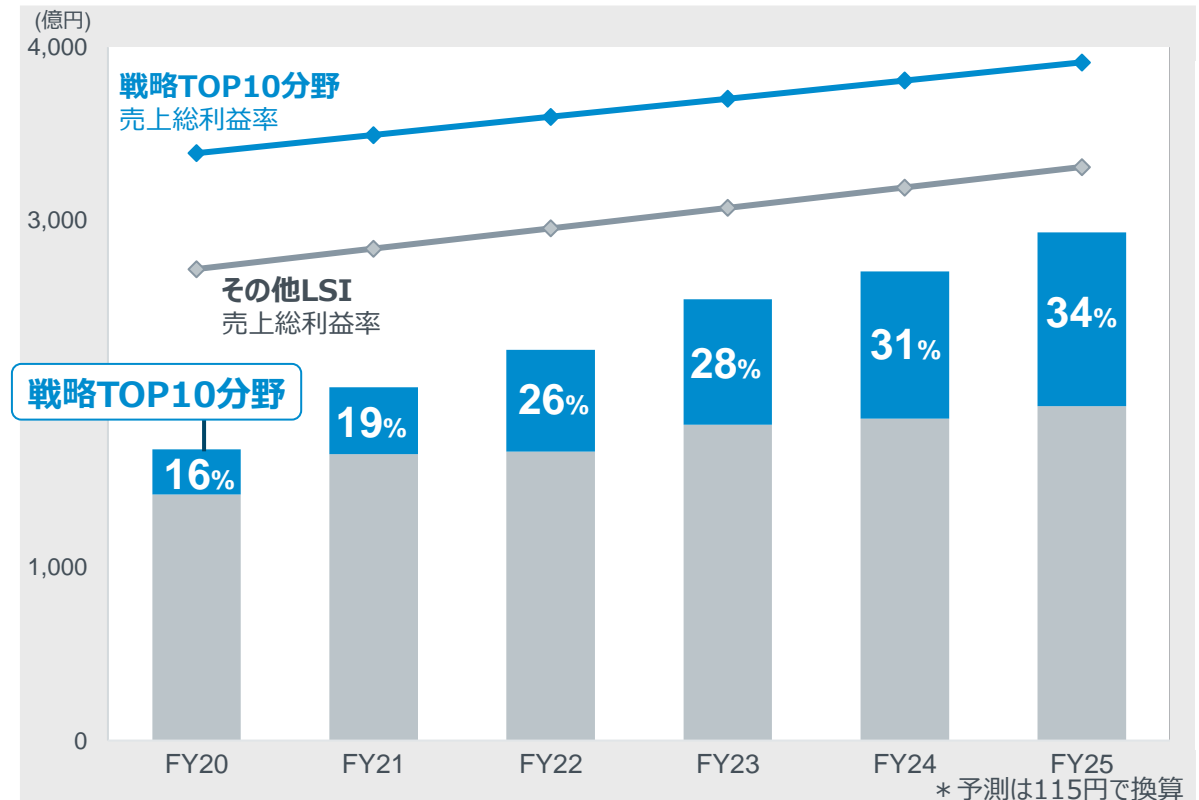
ASSP製品においては戦略TOP10分野を開発・サポート拡充

売上伸長・付加価値のあるASSP分野のTOP10を戦略TOP10分野とし、戦略TOP10分野の売上構成比を上げ、売上・利益拡大を図る。

ポートフォリオ（戦略TOP10分野）

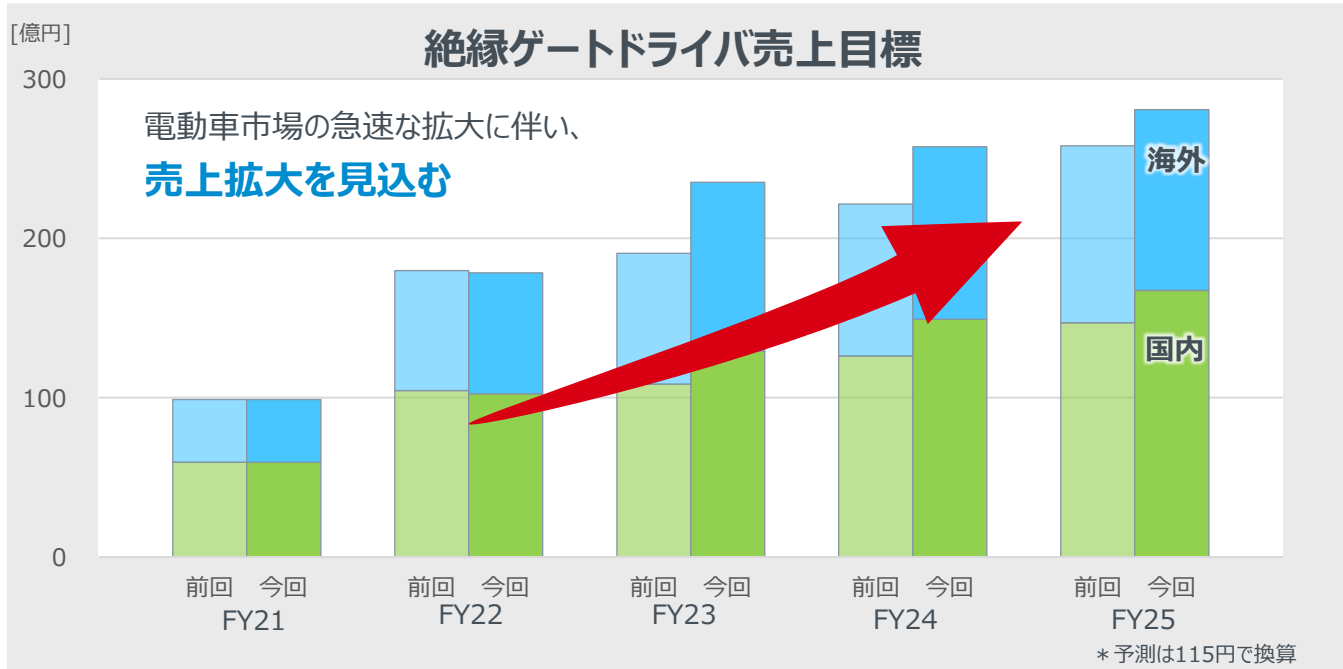


売上比率・売上総利益率（戦略TOP10分野）

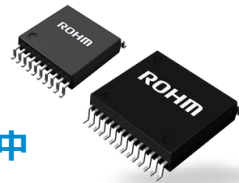


絶縁ゲートドライバ

独自のコアレストランス技術を実装、電源/温度モニタ/保護回路などを集積化PKGを含めた独自設計により、高ノイズ耐性、高信頼性を実現

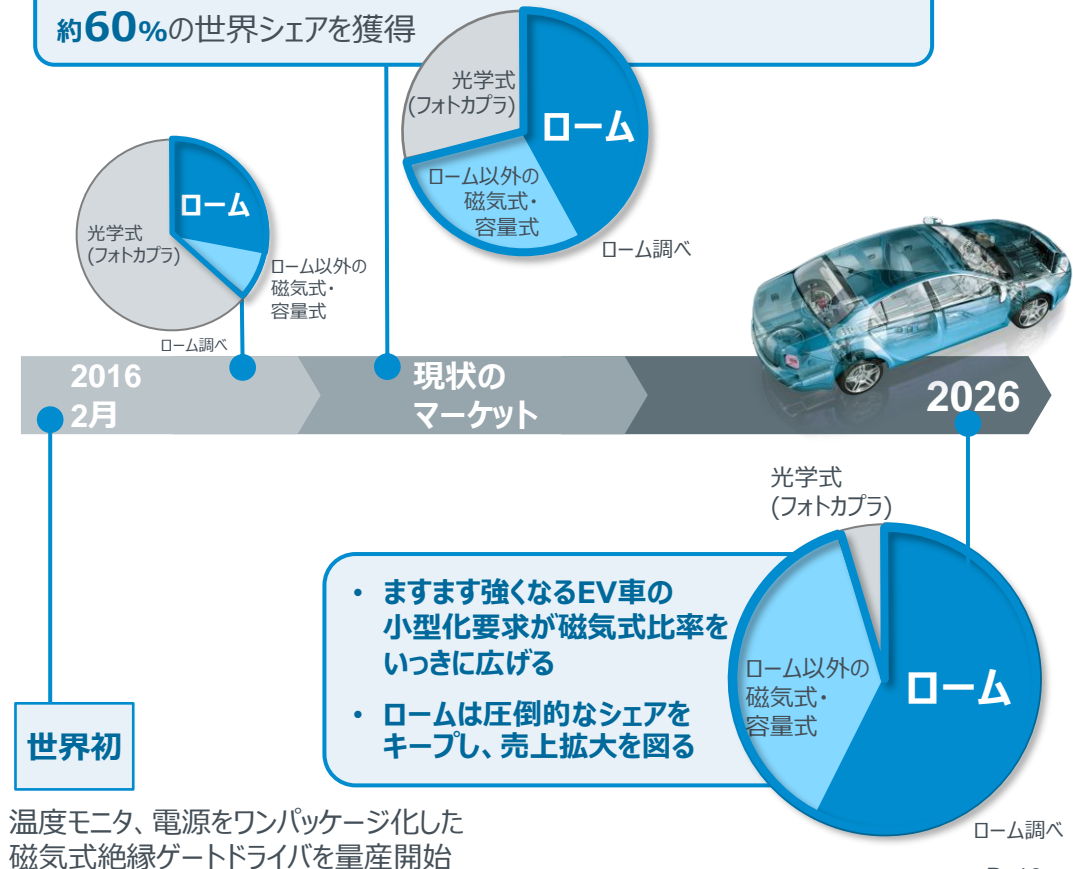


- xEV市場の拡大に伴い、**出荷数量増**
- **国内大手ユーザ向けトップシェア維持**
米・中ユーザ向けにシェア大幅拡大
- 今後の数量増に対応するため、**マレーシア工場に新棟建設中**
2024年量産開始予定



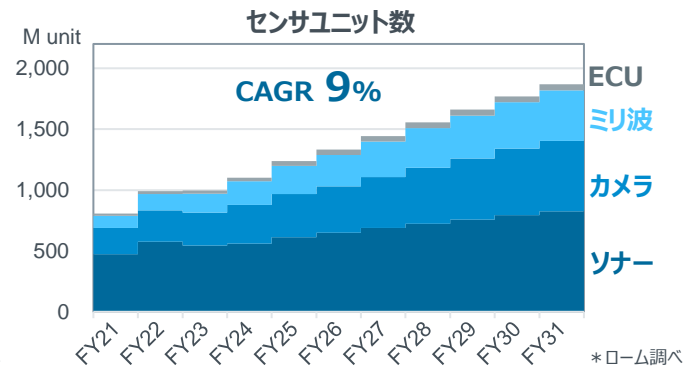
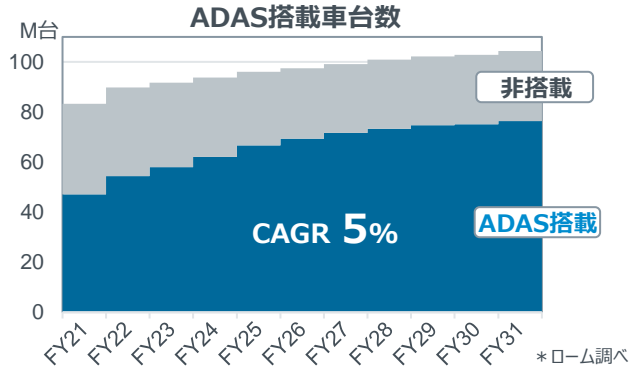
トラクションインバータ向け絶縁ゲートドライバ 世界シェアNo.1

現在ロームは自動車向け**磁気式+容量式絶縁ゲートドライバIC**の約**60%**の世界シェアを獲得

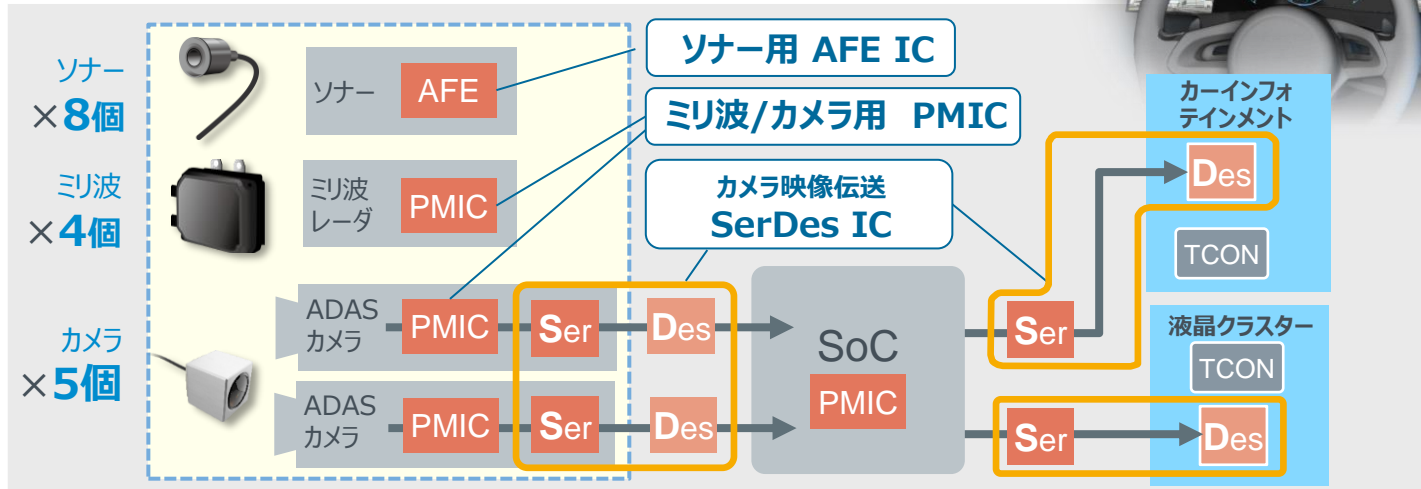


xEVに加え、ADAS自動運転領域の製品展開 ~SerDes IC, ソナー用AFE IC, センサ・SoC用PMIC~

ADAS関連市場



ブロック図



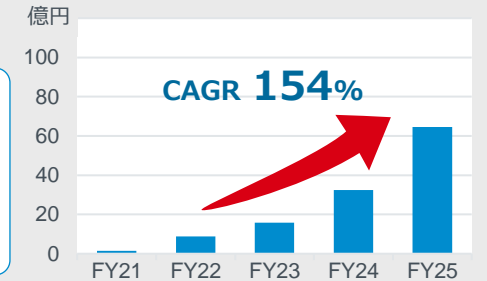
* SerDes : Serializer、Deserializer * AFE : アナログ・フロント・エンドIC (信号処理IC) * PMIC : パワーマネジメントIC (大規模電源IC)

ロームの売上目標

● SerDes IC 高解像度映像伝送用

充実したEMI対策機能

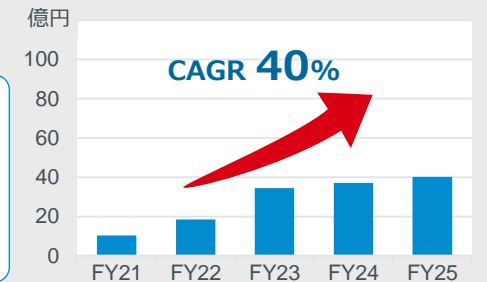
- ・ 伝送レート可変
- ・ SerDes独立制御
スペクトラム拡散機能



● ソナー用AFE IC 近距離測距用

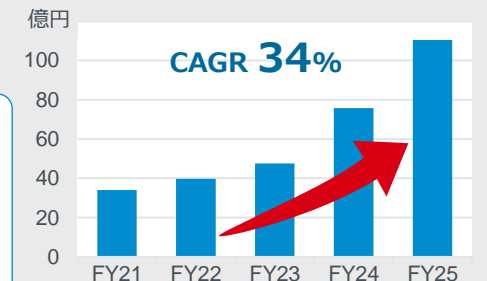
高耐圧FABを活用し、 長距離トランスレス技術を確立

→ モジュールの小型化に貢献



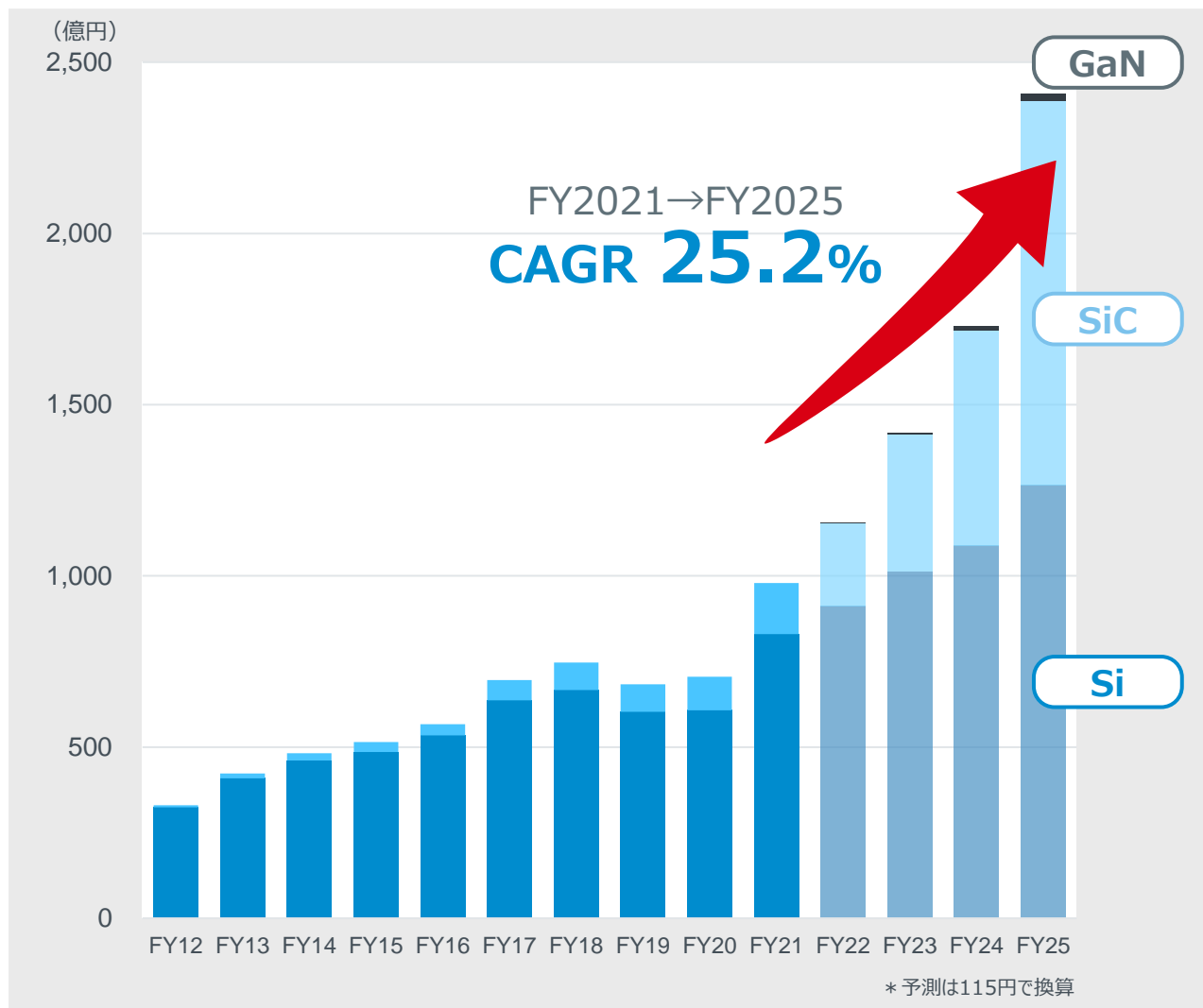
● PMIC (センサ/SoC) 高性能複合電源IC

- ・ 低ノイズ電源技術
→ 発熱低減、周辺部品小型化
- ・ 大電流高速応答技術
→ 高性能自動運転車向けSoCに対応

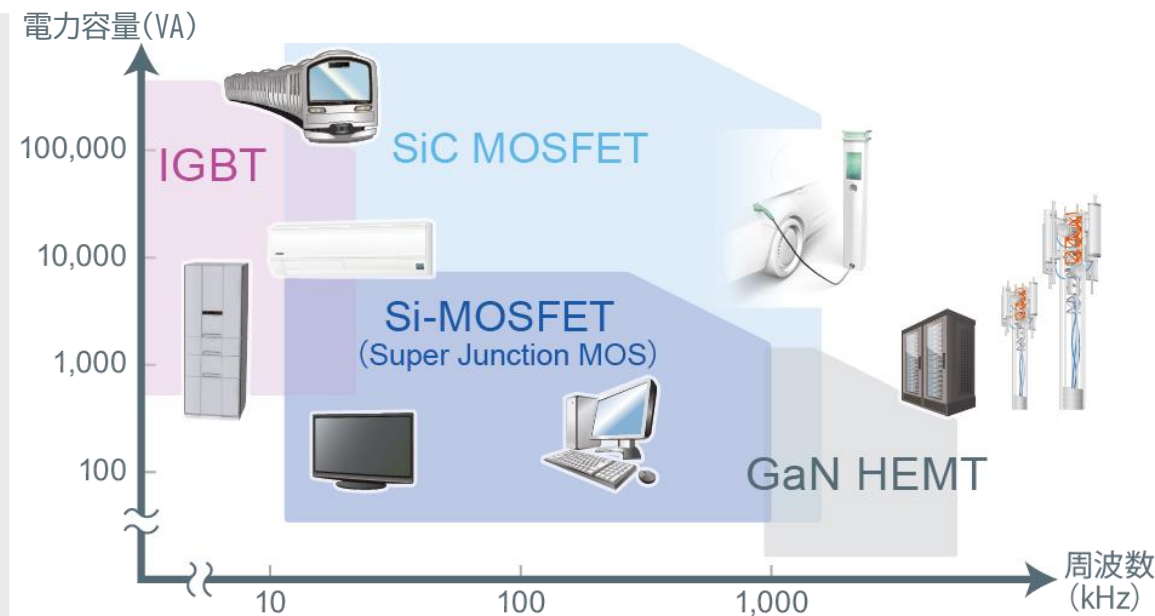


* 予測は115円で換算

パワーデバイス事業の売上目標



パワーデバイスのアプリケーション適用範囲



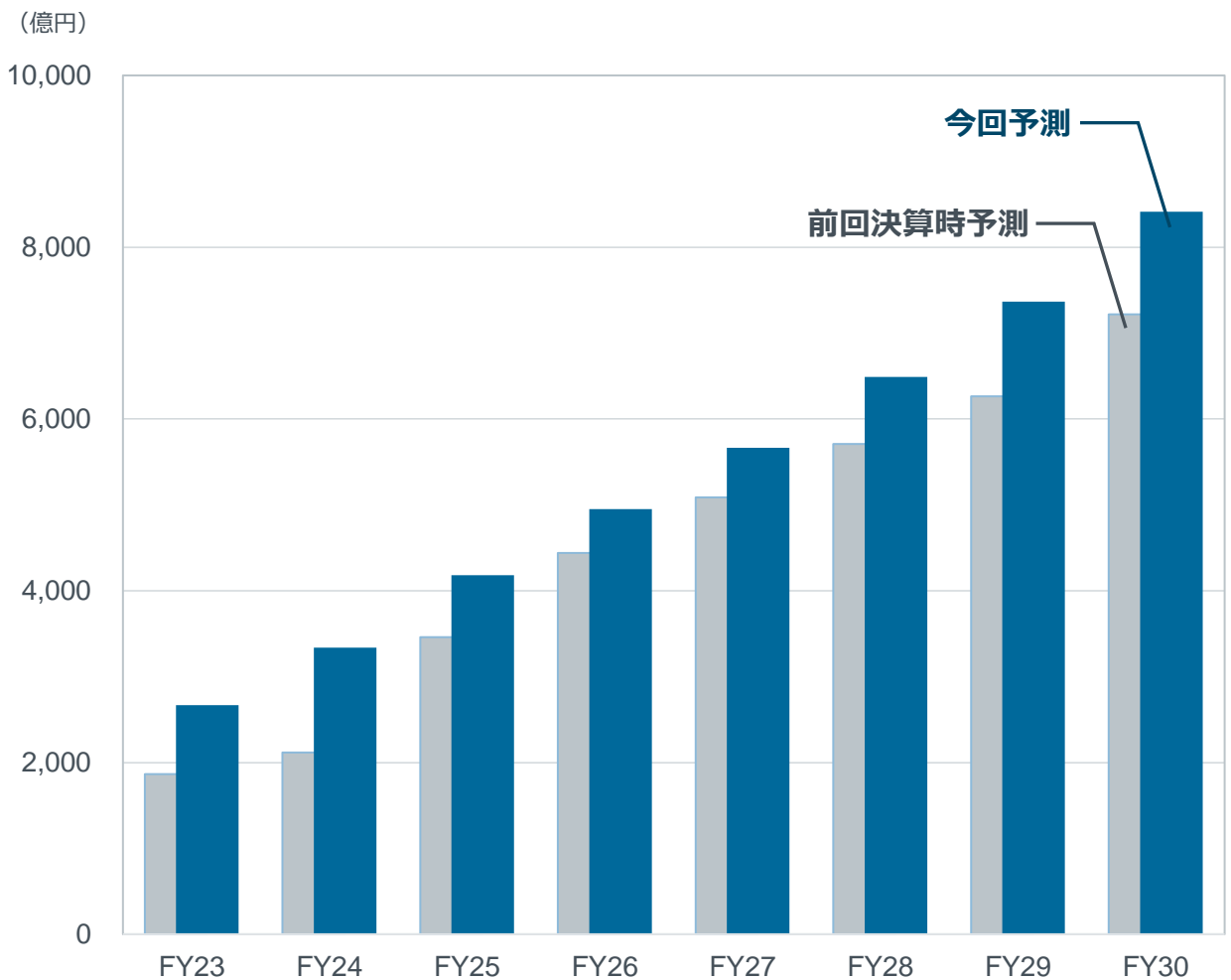
SiC

- 大電力
- 高電圧(> 600V)
- 高周波(20~200kHz)

GaN

- 中電力
- 中電圧(100~600V)
- 高周波(200kHz以上)

SiCの市場規模予測

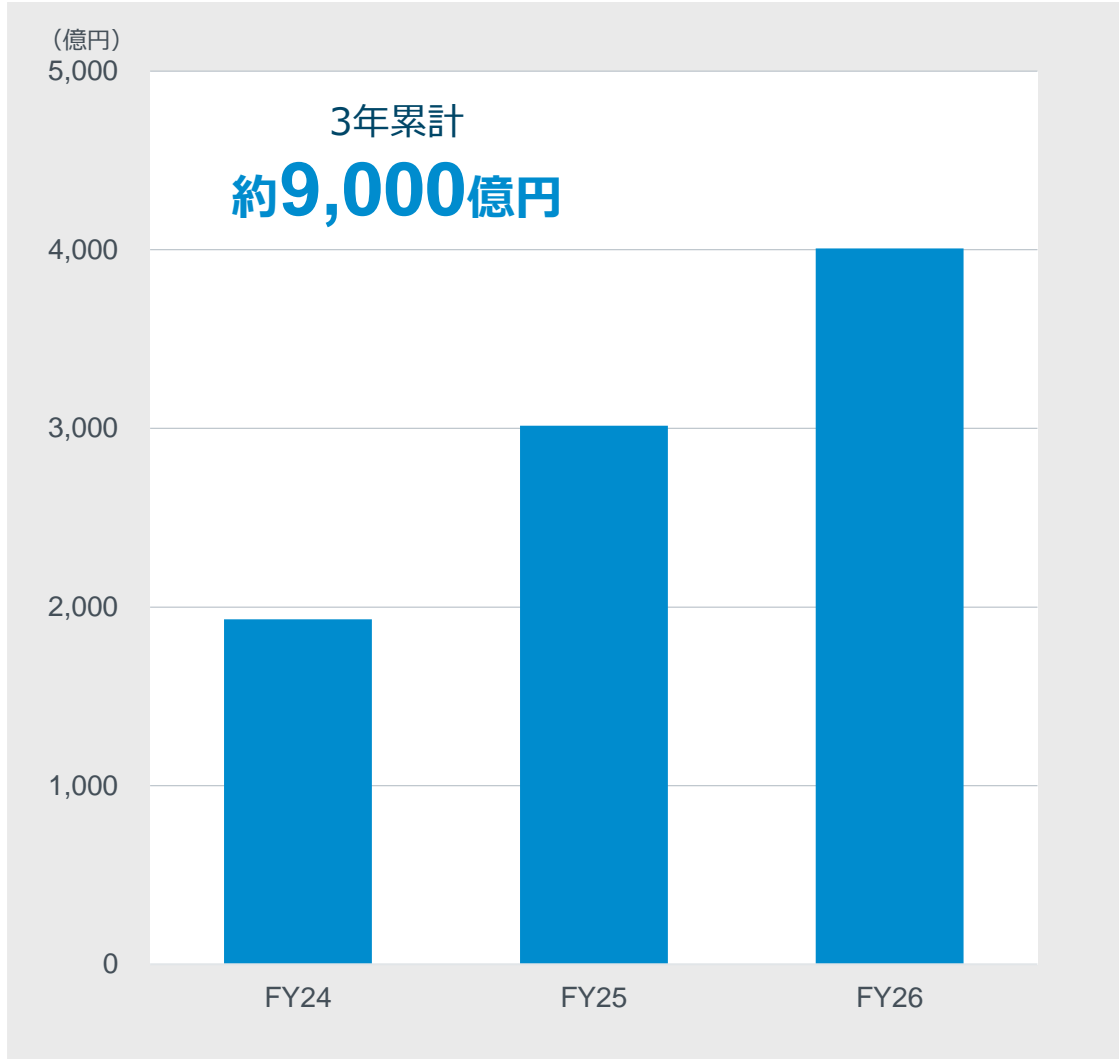


*ローム試算

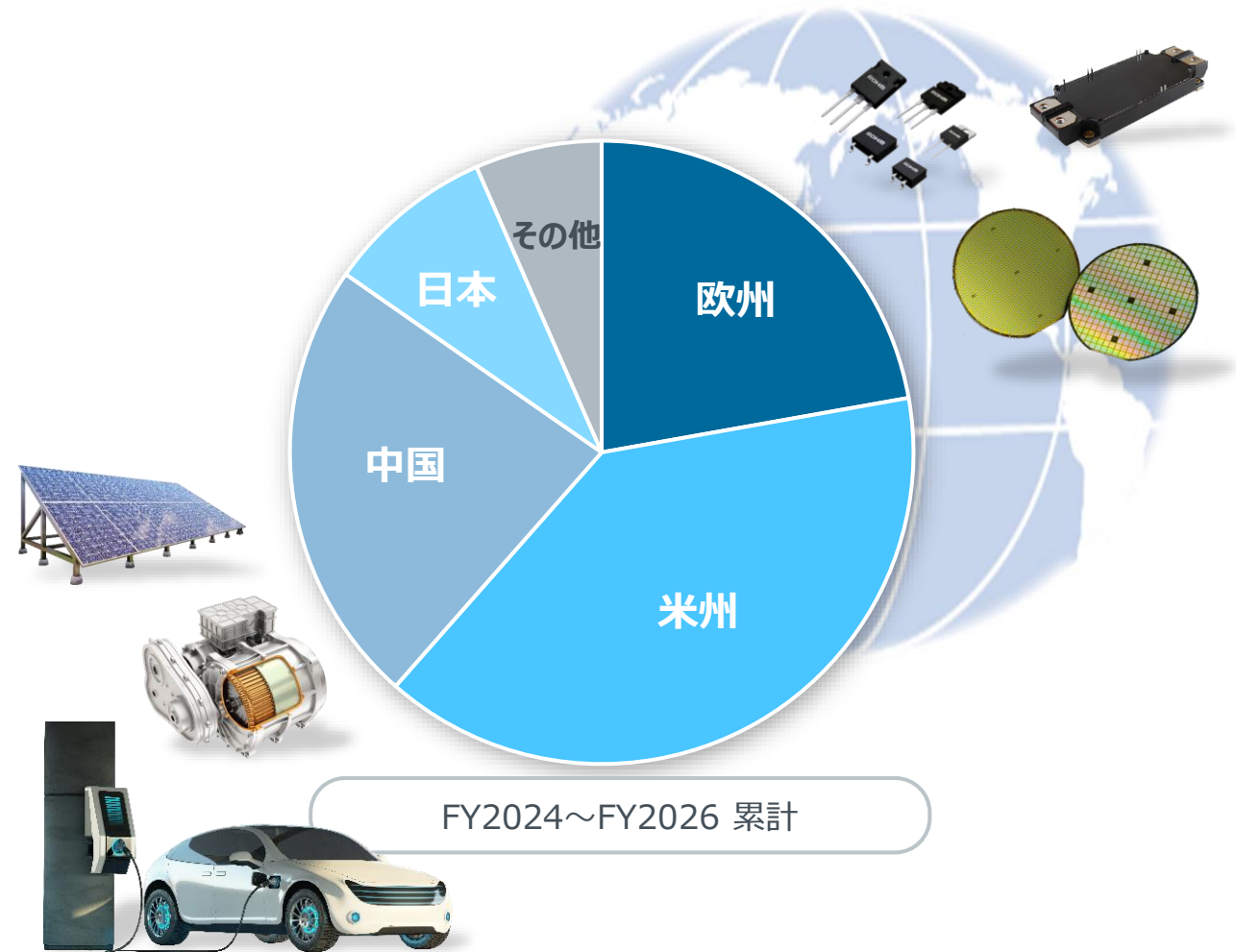
事業目標



SiCのパイプライン金額



パイプラインの地域別内訳



<ご注意事項>

1. 当資料は投資分析を目的として作成しておりますので、投資分析にのみご使用ください。
2. 2022年度通期の予想は、現時点で得られた情報にもとづいております。従って、業況の変化などにより記載の予想と大きく異なる場合があります。

<お問い合わせ先>

ローム株式会社 IR室
〒615-8585 京都市右京区西院溝崎町21
E-mail : ir@rohm.co.jp



Electronics for the Future